

No.とプログラム名	No.64 看護とリハビリのお仕事を体験してみよう 
実施日・回数	8月6日（火）午前、8月8日（木）午後 計2回実施
会場	【緑区】 昭和大学保健医療学部横浜キャンパス
参加児童数	56人
企業・団体等名	昭和大学保健医療学部
参加の目的 (150文字程度)	看護やリハビリテーションの仕事に従事する「看護師」「理学療法士」「作業療法士」の仕事を体験し、医療系の職業について興味や関心を持ってもらう。また、「医療職」が社会の中でどのような役割を担っているかを知ってもらえるようにする。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

①お仕事紹介，②各分野の職業体験，③振り返りの会

【看護師】点滴の調整，消毒と包帯を巻く作業

【理学療法士】身体を上手にを使ってジャンプ力向上，アイシング体験

【作業療法士】食事の補助用具の使用，手の装具づくり

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024

📎 当日の流れ

* ①～③はグループごとに順番にまわる

時間	内容
12:30	受付開始
13:00	挨拶
13:05	本日の流れについて説明
13:10	各お仕事紹介（大学生）
13:20	グループに分かれて移動
13:25	①看護師
14:10	②理学療法士
14:55	③作業療法士
15:45	振り返り 1 G
	振り返り 2 G
	振り返り 3 G
16:05	全体まとめ
16:15	参加証授与・閉会の挨拶



👉 看護師体験ブース
（点滴の調整をする様子）



👉 看護師体験ブース
（傷の消毒をする様子）

👉 理学療法士体験ブース
（ジャンプ力を上げるための準備運動）



👉 作業療法士体験ブース
（手の不自由な方のための装具作製の様子）

参加児童の様子や意見、感想など

- ・看護師の点滴の調節を音楽に合わせてやるのが難しかったけど**楽しかった**。
- ・ジャンプ力向上チャレンジは、1回目飛んだ後に体操みたいなのをやって、2回目に記録があがったから**すごい楽しかった**。
- ・全部が**楽しくて学べて嬉しかった**。いつもできないことができたり、触れたりするのも楽しかったですし、1つ1つ丁寧に教えてくれたので**すごいわかりやすかったし、勉強になりました**。
- ・**普段ではできない体験をさせてもらって、楽しかったです**。普通の学校生活でもできそうなこともあったので、それを活かしてやっていきたいと思いました。
- ・もしも利き手を怪我で使えなくなってしまったとき、補助用具を使って食事をすれば食べやすいだろうし、不便もなくなっていいと思いました。**私もこんな道具を、困っている人たちに教えてあげたいと思いました**。
- ・今日はたくさん、**看護師や理学療法士や作業療法士のことが知れて楽しかった**。
- ・医療系の仕事のことはあまり考えていなかったけど、今日体験してみても**医療のことを少しだけ知れて興味を持ちました**。
- ・看護師がやると思うより**いっぱいあったけど全部体験してみても、大きくなったら看護師になりたいと思いました**。
- ・**またやりたい！楽しかった！昭和大学って楽しいし、すごかった**。
- ・看護師さんは、私たちがやるのが難しいことを目にもとまらぬ速さでやっているの**すごいと思いました**。
- ・学べてよかったし、**学生の方が、僕達のために頑張ってくれていた**ので、**とてもうれしくて楽しかったです**。
- ・どの仕事も楽しかった。**理学療法士に一番興味を持って、それはジャンプの他にも記録を伸ばしたいからです**。
- ・3つの職業を体験してみて、**どの職業も人のためになるようなもので、とてもやりがいを感じられそうな職業でした**。
- ・おねえさんやおにいさんにわかりやすい説明を受けながら、**楽しく体験ができて、嬉しかったです**。 などなど・・



👉 作業療法士体験ブース
(補助具を使って豆をつかむ様子)

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024



👉 理学療法士体験ブース
(アイシングの説明を受ける様子)



👉 振り返りの会
(グループに分かれて体験の感想を発表)

企業・団体の気付きや感想など

本学は、子どもアドベンチャーカレッジの参加は3回目になります。今年も、毎年多くの応募があるため、2日間開催し、参加者の増員をはかりました。横浜市緑区にある昭和大学保健医療学部、横浜キャンパスの地域連携推進委員会の職員が中心となり、計画と準備を行いました。子供達に楽しい体験と医療に関係する職業を知ってもらいたいという思いを込めて、5月から準備を進めてきました。暑い時期の開催なので、熱中症にならないように水を配布して、体験中も適宜水分補給を促し、安全面の配慮をしました。

当日は、本学の学生が主体となって運営し、受付からお仕事紹介のプレゼン、体験のサポート、振り返りの会の司会などの役割を担ってもらいました。学生は、子供達1人1人に丁寧に接して、話を聞き、笑顔で対応していました。子供達も大人が話すよりも話しやすい様子で、最初緊張していた子供も徐々に笑顔が増えていきました。また、子供中心の体験ではありましたが、一部の体験では、保護者の皆様にも参加していただきました。体験を通じて「楽しい」「嬉しい」「興味をもった」という声とキラキラした表情を見ることができて、こちらも嬉しく励みになりました。また、本学の学生も子供達との関わりからコミュニケーションや医療的な技術を人に伝える難しさを学び、医療人としての成長にも繋がっていると感じます。

世の中には様々な職業がありますが、この体験を通じて少しでも看護師・理学療法士・作業療法士に関心を持ち、将来、医療を担う仲間になってくれたら嬉しいです。

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024



👉 受付



👉 閉会式



👉 みんなで記念に！（参加者と大学生、教員）